アメリカシロヒトリの駆除について

毎年、アメリカシロヒトリの発生が多くなり、ＪＡへの問い合わせも年々増加しております。そこでアメリカシロヒトリの生態と駆除方法について説明します。

❖ アメリカシロヒトリとは？

チョウ目ヒトリガ科に属する白い小型の蛾で、桜やプラタナスなどの落葉樹の葉を好み、葉を食害します。その食害は幼虫による被害がほとんどで、年に２～３回孵(ふ)化を行います。また繁殖力が強く１匹の成虫から産卵される卵は700～1,000個で、１週間程度で孵(ふ)化します。

アメリカシロヒトリが人体に与える影響はないものの、食害された樹木が衰退したり大量発生により不快感を与えます。

❖ 駆除方法

クルミ、桜、梅、ハナミズキ、杏、柳、プラタナスなどの落葉樹に産卵され、幼虫はくもの巣状の巣に約１週間留まっています。幼虫は 1.5 ｃｍ位になると巣から離れてしまうので、分散する前に枝葉を切り取り、袋に入れて燃やせるゴミに出しましょう。これが一番環境にやさしい駆除方法です。

すでに幼虫が分散してしまった場合には、年２～３回発生するので、薬剤を用いて駆除するのも６～９月が効果的です。

4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月
サナギ（越冬）		成虫→幼虫→サナギ→成虫→幼虫				サナギ（越冬）	

❖ 薬剤の選択

人や動物など環境に影響のない薬剤の使用をお勧めします。また、散布する前には近隣に迷惑のかからないように飛散に注意しましょう。取扱説明書をよく読み、使用方法がわからない場合はＪＡの営農指導担当者までご連絡下さい。

薬剤名	希釈倍数	適用作物	薬剤の特徴
バシレックス水和剤	1,000 ～ 2,000倍	桜 プラタナス りんご	ＢＴ剤（生物農薬）に区分され、人的被害がありません。ただしチョウ目以外の害虫には効果ありませんので注意してください。 また、適用作物が指定されていますが、全ての野菜・果樹に散布できるカウントゼロ剤です。
トアローフロアブルＣＴ	1,000倍	さくら	
サムコルフロアブル10	2,500 ～ 5,000倍	杏 すもも	アメリカシロヒトリへの適用作物は左記ですが、りんご・ぶどう・おうとうにも登録がある薬剤で人的被害が比較的少ない薬剤です。

【お問合せ先】ＪＡ津軽みらい営農課　電話 0172-52-5112

農作業無料職業紹介所について

組合員の高齢化や後継者の農業離れなど管内の農作業従事者が不足している状況が慢性化しつつあります。

当JAでは、労働力の紹介や斡旋により組合員の労働力不足の解消を図るため、農作業従事者無料職業紹介所を設置しております。

①求人者は、当ＪＡ正組合員とします。

②求職者は、農業に従事できる人材を募集しています。

【お問合せ先】ＪＡ津軽みらい無料職業紹介所（02-特-000008）
ＴＥＬ 0172－52－5262　ＦＡＸ 0172－53－1967